

あおぞら通信 	第 56 号	令和元年 11 月 13 日
	社会福祉法人元気村	夢工房翔裕園 〒365-0025 埼玉県鴻巣市下谷 41 T E L 048-540-5000 F A X 048-544-0050 あおぞらベーカリー T E L 048-540-7080

【当園が取り組む農業について】

当園が農業を生産活動として取り組み始めたのは、2014 年度埼玉県障害者農業参入チャレンジ事業がきっかけでした。この取り組みは、あらかじめ販売先が確保され、安定した需要のある玉ねぎの生産・出荷を行うことで、継続、安定した売上を確保し、障害者の工賃向上を図ることでした。初年度に玉ねぎを 2 トン収穫でき全量出荷もできましたが、1 反弱の農地では工賃向上への貢献度は低く農業の大変さを実感しました。この経験を活かし、農地を 3 反弱まで拡大することを決め 2015 年 4 月に農林水産省「都市農業機能発揮対策事業」にハウスいちご栽培を提案、10 月「赤い羽根共同募金」にブルーベリー農園を提案し共に採択に至りました。2015 年 9 月にいちごを定植し、栽培も順調に進み 2016 年 1 月 5 日（いちごの日）にいちご狩りが出来る「観光福祉農園・元気ファーム」を開園。その後、夏の花「ひまわり」（福島県復興支援の一環）、秋の味覚「さつまいも」を栽培し年間を通して集客および作業が出来る農園が完成しました。

2016 年に「農福連携」という考え方が広まり始めました。政府が定めた「ニッポン一億総活躍プラン」（2016 年 6 月 閣議決定）においては、社会的に弱い立場の人々が最大限活躍できるような環境整備の一環として「農福連携の推進」が盛り込まれました。

これをきっかけとして、その後「日本農福連携協会」が設立されました。全国の農福連携に関わる団体を包括するプラットフォームとして立ち上がり、農福連携の啓発セミナーや農福連携によって生産された農産物の販路拡大などを行っています。農林水産省・厚生労働省・民間企業・NPO 法人・農家などが垣根を越えて一体となり、農業における課題と福祉における課題を一挙に解決すべく取り組みがスタートしています。

農福連携とは、障害者や高齢者などが農業に携われるよう、国や自治体、法人などがそれを支援する取り組みのことです。農福連携の取り組みが進むことで、障害者や高齢者、生活困窮者の働き口を創出できるとともに、農業分野では高齢化による後継者・働き手不足の問題を解消できると期待されています。

以上のように「農福連携」が明言化され結果として、先駆けて農福連携に取り組む事業所となりました。農福連携のカタチは様々あります。当園は福祉施設が農業分野へ参入するカタチです。

農業に取り組むメリットとして

1. 障害者の作業能力を考慮した仕事設計が可能

農作業には、畑を耕すところから、種まき、収穫、発送業務までさまざまなものがあります。そのため、障害者一人ひとりの身体状況・作業能力に応じた職場設計・仕事設計をすることができます。

2. 自然のなかに身を置くことで身体的・精神的にプラスの効果を得られます。

自然のなかで過ごすことで体にもいい影響が見られます。農林水産省が 2014 年に発表した「農と福祉の連携についての調査研究報告」では、農業活動に取り組んだ結果、半数近くの方が「精神面・身体面の状況が改善した」と回答しています。

3. 一般就労への移行につながる

農業は言うまでもなく、体を使う仕事であり朝も早い。農業に携わることによって、規則正しい生活習慣が身につき、一般就労にむけた訓練にもなります。

4. 社会コミュニティへの参加機会を得られる

一般的な事務職であればオフィスにこもりきりになってしまうところを、農業であれば野外で作業することが多くなります。通りすがりに声をかけられる、隣の畑の人と仲良くなるなど、地域コミュニティとの接点もおおずと増えていきます。

当園の課題は、生産活動の結果として工賃をいかにして向上させるかです。2018 年度の月額平均工賃支給額は、農園以外の生産活動も含め結果として 9,220 円でした。埼玉県平均にはまだ届いておりません。しかし伸びしろのある生産活動はやはり農業です。

観光福祉農園として年々来園者数・売り上げは向上しており、「マイナビ農業アワード 2019」においても優秀賞を受賞し取り組み方は間違っていないと思っています。

今後の課題は、観光福祉農園「元気ファーム」の取り組み内容を周知し四季折々で楽しめる農園を作り上げることだと思います。

その結果、社会に開かれた障がい福祉サービス事業所が実現でき、利用者皆様の能力向上が図れ、工賃向上及び B 型からでも就労に結びつく事業所となることです。

今後とも皆様のご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

就職面接会

台風の爪痕が癒えない日々が続いている県もあり、懸命に復興に力を注いでいる方たちの力はすごいと感じた 10 月でした。そんな方たちの力を目に焼き付けながら訓練に励んでいる就労移行です。

今回は 10 月 15 日に行った県央地区の合同面接会について書きます。

毎年この時期になると行われる合同面接会はハローワークが主催で行われており数十社の企業が参加しています。今回は面接対象者がいませんでしたが、就職に対する意識に少しでも変化があればいいなと思いました。

今年もあと 2 ヶ月ですが一生懸命訓練に励んでいきたいと思います。



避難訓練



9/27、震度 5 を想定した避難訓練を実施しました。地震発生のアナウンス後、まずは頭部を机の下に入れ、速やかに身の安全を守り、揺れがおさまったら、職員誘導のもと駐車場へと移動し、全員避難できたか点呼確認をしました。今回は避難後に初期消火訓練もあわせて実施しました。火元に見立てたカラーコーンに向けて、バケツに汲んだ水をかけ消火しました。また、職員のみで実際に 119 番に通報し、通報訓練も実施しました。事後検証では、職員の誘導の声が小さかった、揺れのおさまるタイミングを待たずに避難に移ってしまった等、今後の課題もみえま

した。災害大国日本、地震、風水害、いつどこで被害にあってもおかしくない昨今、物的のみならず、心も備えは万全を期しておきたいものです。先の台風被害は記憶に新しく、関東地方に大きな被害をもたらしました。幸いなことに夢工房メンバー、職員ともに被害にあった方はいませんでした。被害にあわれた方々に一日も早く安心して暮らせるようお祈り申し上げます。

バケツの水を火にかけました。バケツをもってみてちょっとおもかったです。

水をすこしこぼしてしまいました。じしんがこわかったです。 O.Y

カンボジア研修旅行

9/18～22 に法人のカンボジア研修旅行へ行ってきました。元
気村グループ施設視察では、アンコール大学／カンボジア日本
友好技術教育センター／クビアン小中学校／共生の家（孤児
院）アンコール共生病院／元気館（社員寮）／元気家（日本料
理）へ見学に行きました。看護師になりたい学生達が真剣な眼
差しで試験勉強をしていたり、教師を目指す学生達が申請書



（願書）の提出をしている最中で、長蛇の列ができており、活気があり皆さん希望に満ち溢れている目をしてい
たのが印象的でした。日本語を学んでいる姿も見学でき、日本とカンボジアの距離が近くに感じられました。世界遺産のアンコールワット観光も行ってきました。アンコール遺跡とは、クメール王朝時代に築かれた寺院や建築物のことで、今のカンボジアの基礎となったとも言われています。アンコールワットやアンコールトムを中心に東西南北様々な遺跡があり、1992年にユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。アンコールワットはスーリヤヴァルマン2世という強大な勢力を築き上げた王様によって築かれた為、アンコール遺跡の中でも有名な寺院。日本やフランス等、各国の遺跡救済チームによって現在もその修復作業が進められています。3つの回廊と5基の塔で構成されており、アンコールワットの偉大さに圧倒されました。タ・プローム遺跡は、12世紀末に建設された寺院で、ガジュマルの木が遺跡を浸食し、すぐにでも崩壊してしまいそうな姿が印象的でした。アンコールトムは、アンコール遺跡の北側に位置する巨大な都の遺跡で、城壁に囲まれているのが特徴で、中心部にあるバイヨンには、当時の人々の暮らしや戦いの様子などが描かれたレリーフ（浮彫）があり、多くの戦争を経て今のカンボジアがあるのがわかりました。数々の戦争の影響で大切な遺跡が窃盗にあっていたり、地雷が未だに点在している地域もあり、観光の道中では足や腕の無い障害者が、音楽演奏で生計を立てている姿も見られ複雑な心境にもなりました。カンボジアの文化や歴史に触れ、理解の深まる良い経験をさせていただきました。

9月レクリエーション スポーツ

心地よい風が吹きはじめ季節はすっかり秋となりました。当初、9月のレクリエーションは登山を予定していましたが、天気予報ではあいにくの雨模様。そのため予定を変更し常光公民館にてスポーツレクを開催しました。それぞれ好きなスポーツを楽しんだあとは2チームに分かれてドッジボール対決です！真剣に勝負をする場面では普段とは違うメンバーさんの一面をみることもできました(^^)今年も残すところ2ヶ月となりますがみんなで楽しく過ごしていきたいと思います！



スポーツレクに参加して、久々に体を動かすことができ、楽しかったです。スポーツレクでは、自分の好きな球技ができたので嬉しかったです。またスポーツレクがあれば参加したいと思います。 Y.O

9月にスポーツレクに参加しました。スポーツレクの秋ということで体を動かしました。バスケ、卓球、キャッチボール、バドミントン、ドッジボール等、色々やりました。特に自分の中で白熱したのはドッジボールでした。是非またスポーツレクに参加したいです。 T.S

10月レクリエーション 行田市支援学校文化祭お祭りスマイルまつりに参加して

10月26日（土）レクリエーションとして、メンバーさんに募り数名の参加でイベントに参加しました。レクリエーション企画と同時にまつり会場ではパン販売を行い、学校内の催事についてはメンバーと職員が3班に分かれて、パン販売と会場内を見て回りました。メンバーの方においては、魚釣りを楽しんだり手作りの工芸品を見て感動したりと、学校内のイベントを楽しんで参加していました。多数あるイベントの中に、農産物の販売や陶芸品の販売、工芸品の販売など行っており来場者および保護者の方々により、即完売するブースもありました。また、体験できるコーナーや休憩室の中に喫茶コーナーを設けていました。参加されたメンバーさんの様子を見ると、充実した時間が過ごせたと思います。



10月26日（土）行田特別支援学校でのイベント（スマイルまつり）に行ってきました。学校内での各クラスを見てまわると、突然目が止まり中学生くらいの女の子が素晴らしい感性で小さなひょうたんにハロウィンの絵を描いていました。とてもかわいかったので購入しました。たくさんあったらインスタ映えです（^▽^）とても楽しく充実した一日を過ごすことができました。 Nさん

学生実習

今年もたくさんの学生さんが夢工房に実習に来てくれました。全部で4つの特別支援学校から実習に来ており、メンバーさんの中には久しぶりに再会した後輩がいた人もいるのではないのでしょうか？どの学生さんもそれぞれ個性を発揮して一生懸命に実習に取り組んでくれました。中には来年の春から夢工房に通い始める人もいます。そんな個性あふれる学生さんの夢工房実習の感想をご紹介します。

行田特別支援学校 Sさん

やきゅうぼーるがんばりました。たのしかったです。

上尾特別支援学校 Sさん

まあまあ悪くは、なかった。みんな、集中できたと思う。

川島ひばりが丘特別支援学校 Nさん

4日間実習をして楽しかったです。お昼に翔裕園のパンを買えてよかったです。

騎西特別支援学校 Tさん

3回目の実習なので集中して作業が出来ました。

騎西特別支援学校 Kさん

パソコンがおもしろかったです。パンはんぱいがたのしかったです。うれてよかったです。さびしいです。

川島ひばりが丘特別支援学校 Nさん

実習中の3日間で野球ボールの修繕、新球縫いをしている中で、だいぶ縫い方が上手になってきたと実感できて、疲れたけど達成感を味わうことができて楽しかったです。

騎西特別支援学校 Kさん

4日間でいちばんがんばったのは野球ボールの糸ぬいをいっしょうけんめいやりました。初日はとてもきんちょうしたけれどがんばってできました。スタッフさんのおかげで4日間お楽しくできたのでよかったです。ありがとうございました。

上尾特別支援学校 Kさん

さいしょはきんちょうしててボールをしっぱいするときがありましたけどだんだんなれてきてしっぱいすることがなくなってきました。4日間お世話になりました。